

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 2 区分
【発行日】令和 3 年 11 月 4 日 (2021.11.4)

【公開番号】特開 2018-190961 (P2018-190961A)
【公開日】平成 30 年 11 月 29 日 (2018.11.29)
【年通号数】公開・登録公報 2018-046
【出願番号】特願 2018-72211 (P2018-72211)
【国際特許分類】

H 0 1 L 31/10 (2006.01)

H 0 1 L 31/0232 (2014.01)

【F I】

H 0 1 L 31/10 A

H 0 1 L 31/02 D

【手続補正書】
【提出日】令和 3 年 9 月 24 日 (2021.9.24)

【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】

【請求項 1】

バックプレーンであって、
バックプレーンの出力面上に配列される出力端子のアレイと、
それぞれが前記出力端子のうちの 1 つに対応する、ソリッドステートの光スイッチのアレイであって、前記ソリッドステートの光スイッチが制御波長の光に反応し、前記制御波長は前記光スイッチを作動させ、検知波長の光に対して透過性を有し、前記検知波長は画像を形成し、前記制御波長とは異なる、ソリッドステートの光スイッチのアレイと、
を含み、
前記バックプレーンは前記検知波長の光に対して透過性を有する領域を少なくとも有する材料から成る、
バックプレーン。

【請求項 2】

前記光スイッチのうちの選択される光スイッチが、前記制御波長の光により作動すると、入力電圧が前記出力端子に連結するように、前記ソリッドステートの光スイッチのアレイに接続する前記入力電圧をさらに含む、請求項 1 に記載のバックプレーン。

【請求項 3】

前記制御波長および前記検知波長が直交波長の光を含む、請求項 1 に記載のバックプレーン。

【請求項 4】

前記制御波長がグリーン光を含み、前記検知波長が近赤外線光を含む、請求項 3 に記載のバックプレーン。

【請求項 5】

前記バックプレーン面のうちの少なくとも 1 枚が、前記検知波長および前記制御波長での制御光反射率の誘電層で被覆される、請求項 1 に記載のバックプレーン。

【請求項 6】

光学システムであって、
オプティカル・カブラのアレイを有するバックプレーンと、

前記オブティカル・カブラが反応する制御波長の光を生成するプロジェクタと、
前記制御光を、並べられる画像状のようにバックプレーン上の前記オブティカル・カブラの前記アレイに誘導し、前記オブティカル・カブラを作動させるための光学系と、
検知波長の光に反応する画像形成システムと、
を含み

前記バックプレーンが、前記検知波長に対して透過性を有する領域を少なくとも有し、
前記画像形成システムが、前記検知波長の光から画像を形成する、
光学システム。

【請求項 7】

前記制御光と前記検知光を組み合わせる、または分離するために、前記プロジェクタからの前記光の経路内の少なくとも 1 つのダイクロイックミラーをさらに含む、請求項 6 に記載の光学システム。

【請求項 8】

前記画像形成システムが、ビデオカメラを有する視覚システムを含む、請求項 6 に記載の光学システム。

【請求項 9】

前記ダイクロイックミラーから反射される光を受け取るようビデオカメラが配列される、請求項 7 に記載の光学システム。

【請求項 10】

前記オブティカル・カブラが、前記検知波長の光に反応しない、請求項 6 に記載の光学システム。